

東武館

▶東武館と東部校剣道部のみなさん



剣道を通して人としての成長を！

東武館は、昭和52年に故北川政志さんが創設した、東多久町の剣道教室です。平成19年に一時休部したものの、北川さんの教え子である松下英伸さんが引継ぎ、今年4月に再開しました。

現在は、小学生5人が18時から19時30分まで、東部校体育館で一生涯練習に励んでいます。松下さんは東部校剣道部の指導も行っているため、部活が終わった中学生も東武館の練習に参加することがあります。指導方針は、剣道を通して礼儀作法やあいさつなど、人としての成長が第一。松下さんは「剣道の楽しさや魅力を厳しさの中でも伝えたい。生涯続けていける武道なので、年をとっても続けてくれたら嬉しいです」と話します。

新入部員を募集しています。年齢は問いません。興味のある方はぜひご連絡ください。

問 松下英伸 ☎080-1724-7939

ふ・れ・あ・い・ひ・ろ

●連載26● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史

化石が語る、多久が海だったころ

「多久が海だった」といっても、すぐには信じられない方も多いかもしれません。しかし、多久市内で採取された化石が、そのことをはっきりと物語っています。

多久市内にある化石を産出する地層は約4000万年～3000万年前のもので、多久は約3000万年前に陸化したといわれています。ということは、それまで多久は海だったわけです。

多久市内で産出される化石は他の地域と比べても二枚貝が40種、巻貝が20種、その他動物化石が12種など、種類が非常に多く、オウムガイやイトカケガイ、ウミガメやサングなど熱帯や亜熱帯の生物も多く見られるのが特徴です。



▲優美な姿を残すイトカケガイの化石（多久町採取）

北多久町中山区や多久町多久聖廟の南側など、市内には地層を観察できる場所がいくつかあります。地層から、多久が豊かな海だった時代に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

多久市郷土資料館・歴史民俗資料館・先覚者資料館

開館時間 / 9時～16時 入館料 / 無料

休館日 / 月曜日（月曜が休日の場合は開館し翌火曜休館）

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

短歌

《麦の芽短歌会 互選》

肉じゃがは好物なれど今日もまた夕餉の卓に並ぶひとり居

本村 則子

老二人八十越えれば童なり遠慮会釈も疾うに忘れる

福島那智子

山壁のなほ幾筋か見えかくれバスの旅路に少しつかれて

田淵ミチ子

与えられしもの楽しむも幸せよ新緑の季を貪欲に愛す

川浪 信子

山笑う季節母校に集いくる友らと傘寿の伊吹わけ合う

尾形 節子

俳句

《楷樹句会 互選》

行く春を 静かにせかす ほどの雨 不二見恵美子

ペランダの 彩の干し物 五月空 森山 抱石

短夜を 語り明かさむ 友きたれ 納富 芦風

朝な朝 新茶に贅を 楽しみぬ 春田 泰子

青竹の 風にゆられて 語りあふ 田中久美子

川柳

《多久市川柳会 互選》

苦勞した 過去は 語らぬ 丸い石 松下 修

衰える 脚と 静かに ならぬ口 大谷 和

気が晴れて こんなに うまい にぎり飯 田代まつこ

出発の 子供に エール 送る朝 古賀ちひろ

出発だ 別れを 惜しむ 事はない 井上 東子

市民文芸

